

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 22 日

事業所名 ことばの教室 ことのは3号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	0	部屋を分けて、動や静の環境設定をしている	見守る職員の人数や言語聴覚士等が訓練する内容合わせて、事前に活動内容や配慮点の確認を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	7	2	0	会社内からヘルプ(協力体制)を出し合って、カバーしている	建物の構造上、目が届きにくい場所もあるので、利用者が多い日には特に事前に職員を配置する場所・危険な箇所を周知・徹底していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	0	朝・昼・夕のミーティングを行っている	限られた時間内のミーティングであるため、重要な事から共有し、職員全体で理解して業務改善を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2	0	毎年行っている	保護者・事業所内からの言葉を通し、優先順位が高いものから業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	0	毎年行っている	保護者へ周知し、ご覧くださるよう促しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	2		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	事業所内でも研修を行っている	事業所外への研修を希望する場合には、受講できるよう事前に職員配置などの調整を管理者が行っていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	4	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	3	0	日々子ども達の意見を尊重しながら職員間にて活動を検討している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	2	事前に利用者に活動予定・目的を周知している	日によっては、直前に予定が決まる事もあるので、1カ月毎(毎週土)の課題・活動の担当者を決め、職員・児童がスムーズに動けるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	0	終礼にて振り返りを行い情報共有を図っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	その日対応した職員が記入・報告等している	支援の記録を徹底するため、終礼や記録の方法などを検討していく予定です。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1	0	半年毎に支援会議を行い課題の変化を共有している		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	3	1	担当言語聴覚士または児童発達支援管理責任者が参加する様にしている		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	0			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	1			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	9		現在、対象児がいませんが、必要依応じて連携していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4	1		現在、その年齢の利用児が居ないので、必要になった際は行っていく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	4	児童館へ行く機会を設けている	児童館へ行ったことはあるが、交流はできておらず、今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	4		取締役が隣の自立支援協議会全体会の委員として参加しているが、次年度は南城市の自立支援協議会などの参加を検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	お迎え時に児童の様子などを共有することで課題の理解を図っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	4	必要に応じてや相談があった世帯には個別に対応している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3	0	利用契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0	8	実施した事がない	令和6年度内での実施を検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4	2		その日の利用者にのみ活動のお知らせを行っているため、なるべく全世帯へ活動の周知が出来るよう取り組んでいきます。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	4	実施した事がない	土曜日の活動を通して令和6年度内に実施できるよう検討しております。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	1	教室にて保管しており、職員間にて共有している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	1	定期的に避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	3		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	3	対象児がいない	今後必要に応じて、対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	2	対象児がいない	食物アレルギー対象児はいませんが、今後対象児が居た場合は対応していく予定です。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	1	ヒヤリハット発生時には記録に残し会社全体にて共有している		